

草花文芸祭 ジャズ喫茶

十一月一日、二日と開かれた芸術文化祭で、生まれたての朝日ジャズクラブ主催によるジャズ喫茶が設けられました。中央公民館のロビーを仕切つて飾りつけされた喫茶室は、子どもから大人まで好評。ピアノソロによるジャズが流れる中、若者たちはコーヒーを飲みながら話をはずませていました。

●今月の内容●

● 過疎の流れは変わったか……………	2
● ふえつつけている医療費……………	7
● カメラルポ 大きく広がった心の輪……………	10
● みんなの教育 これからは図書館です……………	12
● 町民のひろば・情報室……………	14



広報 のあさひ

No.312
'82
11/15

流れは変わったか

活力ある町をめざして



●小林富蔵町長

人口の減少率は 大幅に低下

●委員長 朝日町は昭和四十六年に過疎地域の指定を受け、これまで一連の過疎対策事業を実施してきたわけですが。しかし、昭和四十五年頃に比べ人口減少率は大幅に低下しているものの、人口の流れを止めるま

では至っておりません。そこではじめにこれまでの過疎対策の評価と反省点についてお聞きます。

●町長 人間は生活するに便利なところ、所得の高いところへ流れていくという心情は当然の理であると思います。それが過疎過密を生む原因でもあるわけです。それで、私はまず所得の向上対策に力を入れてきま

わが町は、これまで過疎からの脱却を目指して、農工商共存の町づくりを進めてきました。また、生活環境の整備や福祉の充実による住みよい町づくりに努めてきました。さらに、教育振興による人づくりにも力を入れてきました。

そこで、これらの過疎対策をふまえ、今後どう対処していくのか、小林町長と多田広報委員長に対談していただきました。

しかし、日本農業の特殊性などもあり、昭和四十五年以降の水田利用再編対策のような厳しい面があり、稲作による所得の増加は望めないのが現実です。

また、農村工業導入促進法に基づき、企業誘致を積極的にを行い、融資制度を充

した。農工商共存の町づくりを基本としながら、農業を町の基幹産業として取り組んでおります。

農業は土地が最大の条件ですので、基盤整備はどうしてもやらなければなりません。それに里山開発により耕地面積を拡大し、りんごの振興を図るなど、年間七億円ほどの農林予算をつぎ込んで、農業の振興に努めてきました。

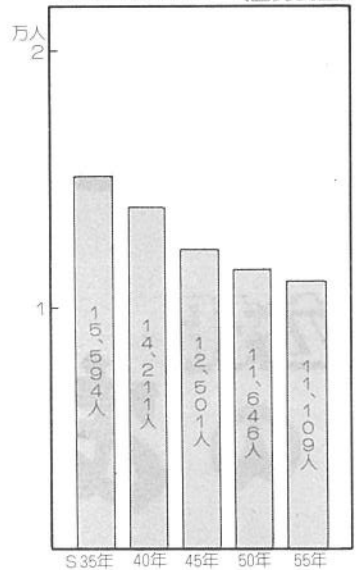
生活文化的な面では立ち遅れが目立っており、特に若者の憩いの場(喫茶店など)もない町は魅力がない

実するなど、就労の場を確保した結果、企業労働者も相当増えてきました。

それでも若年労働者が好んで定着するとか、企業の飛躍的な振興に結びつく原動力となるまでには至っておりません。

商業面では、マイカー時代ということもあって購買範囲が広くなり、町内での購買力は六〇割にとどまっています。これは町民の意識の問題が大きく影響しますが、ともかく人口が減少するということは、商業活動にとって最大のマイナス要因です。

*人口の推移 (国勢調査)



若者の定住対策は大きな課題だ



過疎の

談対報広

という意見があります。
町ではそれらの打開策として、白倉スキー場の整備、



●多田秀雄広報委員長

秋葉山や熊ノ山の開発を目指しているわけです。さらに民間活力としては、朝日

農業に対する意識を変えよう

●委員長 農業の就業人口構成に大きな変化が見られ今後さらに高齢化が進み、深刻な問題となる恐れがあります。ことに第二種兼業農家の場合は耕地の荒廃が心配されますが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

●町長 日本の農業は家族労働力が中心とされ、経営耕地は諸外国に比べ非常に狭いという不利な条件にあります。それに労働賃金が高いということもあります。だから日本の農産物が

相扶で建設する喫茶店やショッピングセンターの建設が芽ばえています。
福祉面では、従来からの与える福祉ではなく、特に老人に対しては生きがいを求めるという点で、社会のために何か役に立つ、貢献できることで喜びを味わってもらい、そんな老人対策を心がけてやってきました。

外国のものより高いのはあたりまえだ、と言うのは間違いだと思ふんです。
企業は生産コストを下げるため、あらゆる企業努力により利潤を追求するわけです。この原理は農業経営においても実践すべきだと思ひますね。

農業従事者の高齢化や農地の荒廃については、おっしゃる通り心配される問題ですが、ほんとうに意欲のある農家に耕地が集積できる方法を考えなければなりません。経営能力のある人

ならばそれは可能であり、そのための条件は基盤整備がなされていることです。
そのほか、耕地の貸借は公的機関が仲介し、相方が安心できる対策が必要でしょうね。

●委員長 農地の流動化問題は以前から叫ばれておりその対策もいろいろやってきたわけですが、あまり前進はしませんでした。
さらに、山間地である条件を考えますと、土地を手離せば離村に結びつく危険性があります。

したがって、平野部以上の所得をあげる方法を考えないと定着はむずかしいのではないのでしょうか。

●町長 そうですね。いかにして単位当りの収益を増やすかを考えないと、当町のように耕地面積の少ない農家は、自立するのは大変でしょう。その点朝日町の場合は水田地帯と比べ有利です。

水田の場合、専業でやるには一〇畝ぐらい必要でしょうが、りんご栽培ですと、うまくやれば一畝から五

六百万円の生産をあげることも可能です。それに、里山開発や遊休農地を活用することにより、農家一戸当たり平均一・五畝程度を確保するのはそうむずかしいことではありません。

今までの農家の考え方も変えなければなりません。賃金が高いからといって、農業をやめ勤めに出るとか、何もすることがないから農業する、などということとはうそだと思うんです。

外国では農業が先端産業として見られているそうです。生物学、化学、経済学、気象学、地質学、そのほかいろいろな学問がないとできない職業だといわれています。

そのように農業というもののに対する感覚を変える必要があるでしょうね。

特産リンゴを

どう伸ばす

●委員長 以前、町長さんりんごの過剰時代がくればどうするか、という質問をしましたが、その時は、

まだ当分だいじょうぶでしょう、というご意見でした。

しかし、決して安心してだけはおれないと思うんです。農産物の貿易自由化という懸念もあります。

地場産業を興すという意味においても、りんごの加工産業を考えるなど、今から対策を立てる必要はないでしょうか。

●町長 おっしゃる通りですね。りんごは将来朝日町でも六〇〇畝を越すでしょう。

だから常に品質の良いものをつくる技術革新は、欠かせない重要な課題です。

そのほか、りんごのワインなども考えてみるべきではないでしょうか。少なくとも、将来に向けて今から研究する努力は必要だと思っています。

●委員長 次は畜産についてお伺いします。

畜産でも特に酪農は、乳価が据置き状態の中で飼料のほうは値上げされる、

リンゴの植栽面積は年々ふえている



すが、最近放牧による土壌の荒廃などにより、一頭飼育するのもむずかしくなってきたそうです。

そういう点で日本に対抗できるのはえさ米の生産にあると思います。事実農林省でも研究しているようです。それから、穀には、普通家畜の飼料にされているものより一〇倍もの栄養価値があるといわれており、これを飼料にできる方法が開発されているそうです。これを活用すれば日本畜産が不振から脱却できる道になるのではないのでしょうか。

またえさ米の生産ということからも、水田を畑地化するのにはやめるべきだ、という意見があります。

水田には米を作るという目的以外に、ダムのような役割を果たし土地に保水力を持たせるとか、洪水防止などの効用もあるんです。

●町長 欧米では、一畝の放牧地で五頭の牛を飼育できるといわれていたそうですが、

を招きます。

農業も経済の原理に従い常に競争原理が働かないとだめですね。保護は逆に危険な場合があるということをは心がけるべきです。

特性を生かした

観光産業を

●委員長 続いて観光問題についてお伺いします。いま、大江町では最上川の舟下りを観光として売り出そうという考えのようですが、朝日町として、新しい観光分野について考えておられることがありましたらお聞かせください。

●町長 観光産業というのはほんとうにむずかしい問題です。

たとえば、ある人が三〇万円である所に旅行したとします。帰りには何もみやげなどを買わず、途中の飛行機代、旅館代、食事代などで経費の全部が消費された場合を考えると、観光地とはただそこにあるだけということになるわけです。それでは観光地としての

地域に対する恩恵が何もないで、いかにしてお客さんからサービソ料としてお金を使っていたくかを考えなければならぬと思うんです。

要するに、産業としての観光が成り立つものでなければならぬわけです。

朝日町には上郷ダム、大沼の浮島、あるいは朝日岳や日本一のりんごの産地など、観光地として成り立つ要素はあるはずですよ。

そこに行けばどこにも負けないおいしい食べ物があるとか、めずらしいみやげ品を売るとか、何か一つ特徴のある観光地づくりに力を入れていきたいと思っています。

●委員長 これまで観光産業についてはいろいろ論じられてきましたが、朝日町だけでいくら努力しても限界があります。

そこで、広域的に点と点を結んだ面的広がりの中で、誘客を図らないとむずかしいように思います。

●町長 ごもったもな意見ですね。確かに今は何事も

広域的になつていきますので村山地域での結びつきとか内陸循環線を促進するためにも、内陸部全体における観光ルートの設定など、積極的に進めていく必要があります。

また、山形県はあらゆる方面で後進的なところがありますね。たとえば東北新幹線に対する取り組みにしても、以前より不便になるようでは困るわけです。

もっと積極的な対応を期待したいですね。

●委員長 先般広報委員の研修で宮城県中新田町へ行きましたが、あの町の全国に誇れるすばらしい公会堂「パツハホール」を見てきました。

朝日町よりも予算規模では少ない町が七億円以上も町費を使って、一見してぜいたくとも思えるあれだけの施設をよくも造ったものだと感じてきました。

と同時にこれからどこにでもあるような町づくりではなく発想を転換して、これだけはどこにも負けない、といった自慢になるも

のをつくり上げていくことが必要な時代ではないでしょうか。

●町長 その地域の特性を生かした特色ある町づくりの必要性については私も同感です。しかし行政だけが先走ってそれをやろうとすると、危険な面を抱えてしまう恐れがあります。特に今のようない時勢には、民間の活力と一体的にやらなければならぬと思っています。

朝日町でどこにもない独自のものを造るとすれば、ワイン工場との関連の中で秋葉山開発構想が今後の大きなポイントになるのではないですか。

町民一丸となつて

朝日分校の存続を

●委員長 それでは次に教育問題について伺います。

教育分野での最大の課題はなんといっても高校朝日分校の問題だと思ひますが今後どのように取り組んでいられるのでしょうか。

●町長 文教問題の改革は

中央でも盛んに議論されていますが、町の文化水準という面からいっても朝日分校は絶対必要です。

県教委でも分校は地元の意見を見無視して統廃合はしないと云っているわけです。

町民一人一人、自らの問題として自覚していただかなければ行政でいくらがんばっても前進いたしません。分校に対し町として、町民として手伝いできる面はお互い協力し合うことが必要ですね。

●委員長 県では住民の意見を見無視して強行はしないと云っていますが、一定の枠(四十五人の一学級定数)以下になれば分校は廃校します、と暗に言っているような気がします。

行政改革の精神にも貫かれていますが、投資してもそれに見合う効果が上らないものは廃止せよ、といった経済的合理性だけ



活気ある町の条件として朝日分校は不可欠だ

を考えた危険な考え方があと思うんです。

町立病院が赤字だからといって直ちになくすことができないように、無駄と分かっているてもやらなければならぬ場合だってあると思います。教育問題についてもその点じゅうぶん考えるべきだと思ひますが……。

●町長 一学級四十五名は一つの枠として理解できます。しかし、四十五名の定数に満たないからといって、一学級として認めないというようないことはあり得ないと思ひます。

ただ、入学希望者が一人もなくれば、町民として朝日分校の必要性を認めていないことになるわけですね。したがって朝日分校の将来は、町民の皆さんの行動にかかっているともいえるのではないのでしょうか。

もちろん町としても県に對する働きかけや、行政としてできることは積極的にやっていくつもりです。

●委員長 ところで高校の入学指導という面から、中学校の先生の役割は重要だと思います。

中学校については町長の守備範囲でもありますし、ある程度町長の考えのもとに指導強化を図ることが可能だと思いますが……。

●町長 朝日分校の入学者が増えることを期待していますが、町長自らある一つの高校への入学を強要するのは行き過ぎです。ただし、教育長に対し町長の意を伝え、町発展のために必要な教育的配慮を行うよう助言することはできます。

●委員長 地域を守るという意味で、もっと強力な行政指導があってもいいように思えるんですが……。

●町長 町長の意がじゅうぶん反映した指導ができるよう、教育委員会に伝えたいと思っています。

教育面については教育委員会が権限を持っており、教育長の意見は通じるはずですよ。

物の福祉から 心の福祉へ

●委員長 福祉問題についてはどうでしょうか。

いままでは物を造って与えるという福祉が中心でしたが、方向を変える必要はないですか。

●町長 西村山地域で老人銀行をつくり老人の持っている技術などを生かそうと検討したが、朝日町では希望者がもっとも少なかったんです。

なぜかという点当町には高齢者生産活動センターがあり、自分の技術を生かしたり、働くことにより生きがいを得るための施設があるからだと思っています。

それに、朝日町の場合は老人といえども、家族の一員として立派にやれる農作業などの仕事があり、その点では幸せだといえます。また部落づくりなどにおいても老人の力がぜひ必要なんだ、という考え方を持てばいいですね。

行革は 住民本意に

●委員長 行革と町の行政機構について、無駄を切り、効率向上をどう図るか、また出し合いの町づくりについての具体的な手法などについておたずねします。

●町長 行政機構が肥大化する原因は、なんでも行政に頼る考え方、規則や条例で人々を束縛したり、規制しないとやれないような状態が生ずるからであり、必然的にそれを担当する職員が増えるわけです。

したがって、中央政府は国民に任せられるのは任せ、地方に委譲できるものは委譲することを考えるべきです。

町でも民間に委託できる業務はどんなものがあるか事務改善委員会で検討するよう指示しているところであります。また、町の職員に対しても一〇人の人がそれぞれ一割ずつ働きを増せば十一人分の仕事ができるので、そういう心がまえを持って業務にあたってほしいと言っております。

●委員長 行革は単に身軽になるだけが目的ではないはずですよ。

必要な分野は新たに設置することも検討すべきであり、あくまでも住民本意に考えてほしいですね。

積極的につくろう 男女交流の場を

それでは最後に、過疎の流れを変えるには後継者対策が最大の課題と思うんですが、後継者の結婚問題についてどのようなお考えなのかお聞きします。

●町長 過疎を脱却するには町民自ら足元を見つめるべきであり、鉄道がないからだめだ、賃金の高い企業がないからだめだなどと、

悪い面だけをとらえて悲観していたのでは良くなりません。

悪い面はそれをどうやって克服するかを、みんな考えてほしいと思います。

後継者の結婚問題については、町でも若者定住町民会議を設置して積極的に取り組んでおりますが、独身者の会を組織し、朝日町東京連絡事務所や日本青年館の協力を得ながら、都会の女性との交流会をしようと、自ら努力しているグループがあり、期待しているところです。

町としてもそのような若い男女が交流できるような機会をつくってやることに努力する考えでおります。

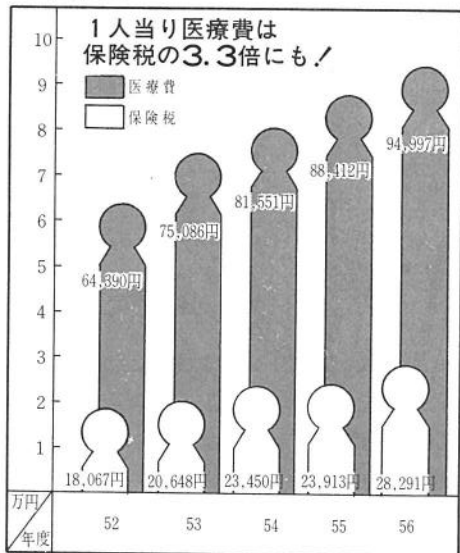
しかし、なんといっても結婚問題はその人の努力以外にないのです。それを家庭がいっしょになって支えてやる、あるいは地域の人が一生涯懸命になって応援してあげる、というような体勢づくりが大事なことでないでしょうか。

●委員長 たいへんありがとうございます。



ふえつづけている医療費!!

*図表1



*56年度国保医療費のあらまし

医療費はどうなっているか

医療費は、医者にかかる人の増加と医療技術の進歩や新しく高度な医療機械の普及などにより、年々増え続けています。

朝日町の国民健康保険に加入している皆さんが、五十六年度に使った医療費をみてみましょう。

医療費の総額は前年比二・五割増の六億四、二〇〇万円というばく大な金額になっています。

これを、国民健康保険に加入している皆さん一人当りになおしてみますと図表

1のようになります。これをみても医療費が年々増加していることがわかります。またそれにつれて国保税も増加しているのがわかります。

医療費がふえれば 国保税も高くなる

それでは、六億、四二〇〇万円もの医療費はどこで負担しているのでしょうか。

図表2でもお分かりのように、国保と国と町と

で実に全体の八八・五割を負担しています。国保の皆さんは、三〇割の自己負担となつていますが、全体で見ますと一一・五割の負担割合となっています。このように

医療費が増えますと、多額のお金を支出しなければなりません。当然国保の会計も苦しくなり、皆さんからの国保税も、今までよりもさらに多く納税していただくこととなります。

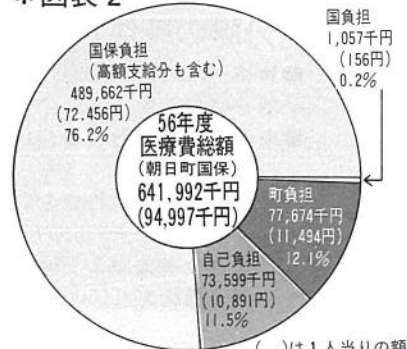
正しい受診で 明るい生活を

町の国民健康保険では、皆さんで出した国保税で、病気になった人の医療や健康事業などを行い、健康で明るい生活ができるよう努力しています。

このようにたいせつな国保税ですから、ほんとうに必要な医療のために使わなくてはなりません。健康で明るい生活と国保会計の健全な運営のために、正しい受診のし方をお知らせしますので、ぜひ守ってください。

☆ハシゴ受診はやめよう
同じ病気でお医者さんを次々と変えたりしていませんか。それは一貫した治療

*図表2



ができず、病気を長引かせたりする原因ともなりま

☆クスリねだりは禁物

むやみに薬などを求めたりしていませんか。お医者さんを信頼して、その指示を守ることが早期回復の道です。

☆時間外受診は緊急、必要以外はさけましょう

時間外に電話によるお医者さんの意見を聞いても割増料金がかかります。

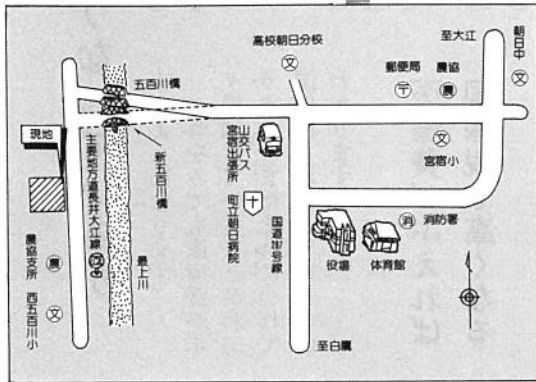
☆治療より予防を

常に健康づくりに努め、検診を積極的に受けましょ

ニュータウン誕生

今、朝日町にニュータウンが生まれようとしています。双葉住宅団地では、美しい紅葉を背景に、新しい住宅が次々と建てられています。

これまで東根市のかた、埼玉のかた、神奈川のかた、いろんな人が土地を購入され、残すところ18区画となりました。新五百川橋も来年度に完成しますので、宮宿の街もさらに近くなり、主要都市への通勤もたいへん楽になります。



分譲のお申込みはお早目に！ (坪価格33,000円から)



分譲済み

☆上の数字は坪
☆下の数字は価格

双葉住宅団地分譲区割図

自己資金94万円で 108坪の土地が買えます 双葉住宅団地

《分譲の条件》

- 資格／町内外を問わず、住宅を建設するための宅地を必要とする方
- 条件／譲渡後おおむね10年以内に住宅を建設すること
- 特典／①土地取得資金に対する300万円までの融資制度あり（利子5.5%）
②住宅金融公庫より融資を受けて住宅を建てる場合利子補給あり（500万円まで2%の利子補給）

《分譲の概要》

- 所在地／朝日町大字三中
- 分譲面積／延べ12,400平方メートル（3,800坪）
31区画
- 価格／坪当り33,000円～38,000円
- 道路／幅員6メートルアスファルト舗装
- 給水／上水道完備
- 施設／緑地・集会場用地・駐車場用地2カ所・防火水槽2カ所・消火栓2カ所・ゴミステーション完備

＊ご相談・お申込みは

朝日町役場企画課へ ☎ 02376(7)2111



⑧ ワインの効能

■健康と美容に

ワインは人類にとって健康のお酒といわれています。食物が体内で消化され、吸収されると酸性になるものと、アルカリ性になるものがあります。

ワインはお酒の中でも珍しくアルカリ性ですので、酸性を中和し健康を保ちます。肉食の多い地方では、ワインを飲めば体調が整うことを経験的に知りました。食生活の知恵とでもいましょうか。

人の体は酸性になると、顔の皮膚などが荒れがちになりますので、女性は適当にワインを召し上がっていただければ、膚も美しくなり美容にもたいへん有効です。

■食欲増進に

ワインにはすぐれた色、香味があり、食前や食中に飲むと食事が楽しくなります。さらに、ほどよく含まれているアルコールは、胃の粘膜を適度に刺激し、胃液の分泌を盛んにして、食欲をいっそう増進させてくれます。

*ワインはアルカリ性

- 体が酸性になると皮膚が荒れる。
- そこで、ワイン。ワインはお酒の中でも珍しくアルカリ性。酸性の多い肉類などを中和する役割がある。



わたし
ワインを飲まない人



わたし
ワインを飲む人

新校舎の建設進む

送橋小

* 年内に完成の見込み

五月中旬から送橋小学校の改築工事が進められていますが、現在の工事進捗率は約八〇割で、予定より一週間以上早まっています。

十月二十五日には、上棟式が行われ、いま体育館ではコンパネはり、各教室では天井はりや内装などの作業に入っています。また外部では、側溝・犬走り工事が行われています。

来年一月完成の予定でしたが、全体的に工事が進ん

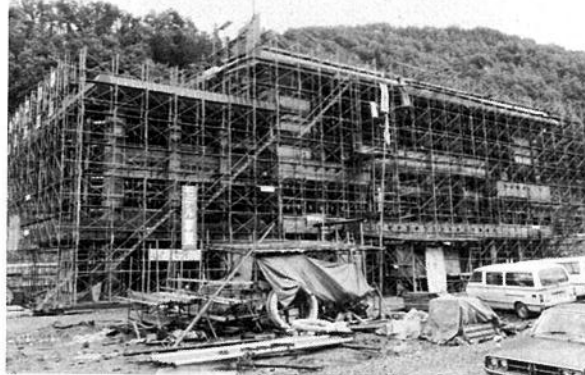
でいることから、年内に完成し、引渡しされるのではないかと、と教育委員会では話しています。

送橋小の子どもたちは、今年四月から臨時校舎として、旧西中での学習を続けてきました。年明けて三学期からは、設備の整ったモダンな校舎での生活が始まるとあって、子どもたちは、新校舎の完成を心待ちにしながら、元気に通学しています。



十月二十五日上棟式が行われた

完成近い送橋小新校舎
三階にある体育館が特徴





ムがった心の輪

「ふ・る・さ・と」テーマに学校祭

私たちの朝日町を、もう一度見つめてみよう——と「ふ・る・さ・と」をテーマに、10月30日と31日の2日間、朝日中学校祭が行われました。

各学級ごとにやった郷土研究の発表をはじめ、合唱コンクール、演劇、お茶会、各種展示など、多彩な催しが繰り広げられました。

そしてフィナーレは、朝日音頭とフォークダンス。全校生の大きな輪で、心一つになりました。



▲「郷土の産物展」も開かれた

▶初めて
む抹茶の味は？



▲「ふるさと」の熱演は全校生の注目を集めた

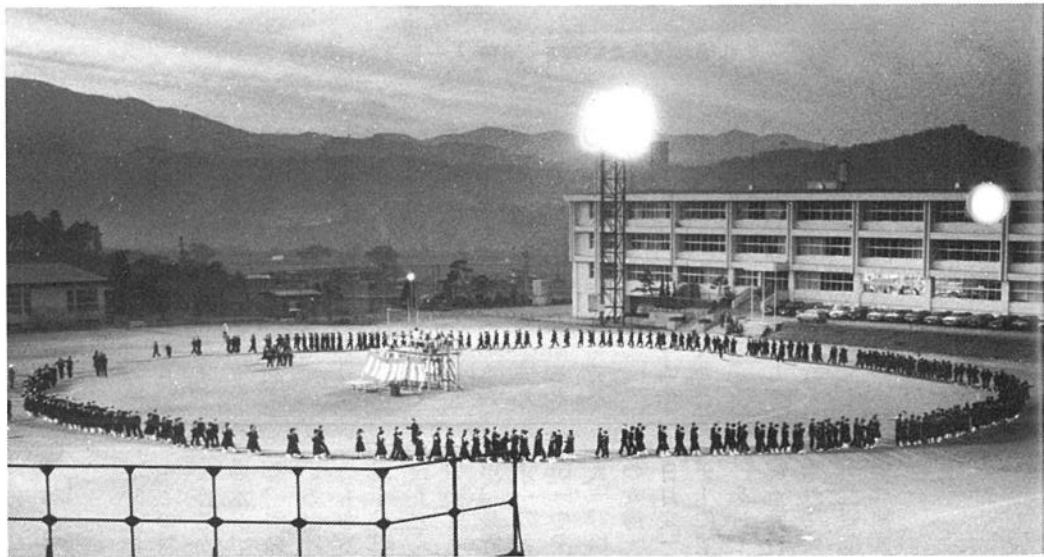




▶ファイナーレを飾るフォークダンスで祭りは最高潮に盛り上がった



▶夕暮れのグラウンドに、全校生の大きな輪が広がった



大きく

朝日中学校

「ふ・る



〈安藤茂雄広報委員〉





それぞれ読みたい本を選ぶ一人一冊運動(西小)

こじんちには 図書館です

* 生活の中に読書を

朝日町の図書館はすばらしい。備えられている図書資料は豊富で新しく、利用者もひっきりなし、休日には親子連れの姿もよく見かける……とか。そこにいる職員も親切で適切なアドバイスをしてくれる……。そのような図書館づくりを目指して頑張っています。

なんでもそろっている図書資料

私たちの町にもりっぱな図書館があることをご存じでしょうか。歴史は古く、宮宿町の時代からありました。数冊から始まった図書も今では約一万二千冊。内容も豊富になり、あらゆる分野の図書があります。百科事典をはじめとする事・辞典類、年鑑類など基本図書といわれるものも数多く備えてあります。また私たちの生活に関係あるものはほとんどなんでもそろっています。

たとえば、「今ブームの『パソコン』について調べたい」といえば「パソコン」の本が何冊かありますし、「どんなものが薬草になるのか、また、どのようにして使用するか知りたい」

たとえば「薬草」の本が、「この料理はどのようにして作るか」といえば「料理」の本が、種類だけでも数多く、何種類もの本が並んでいるわけです。もちろん、実用書だけでなく、娯楽としての図書もたくさんあります。なんといいても多いのは小説ですが、最近出た本では、丸谷才一の「裏声で歌へ君が代」や深田祐介の「炎熱商人」、松村友視の「時代屋の女房」、栗本薫の「神州日月変」などが新刊書コーナーに並んでいます。そして、なんといっても郷土資料や行政資料が整備されていることが、私たちの図書館のすばらしい点です。朝日町の歴史や伝統と

いった類のものはもちろんのこと、各学校で編集した文集や、朝日町の産業がどのようにに推し進められてきたかを物語る統計や資料など、各関係機関で発行されているものがほとんど図書館にはあります。

また、県の「やまなみ号」や、他の市町でも、皆さんが希望する図書資料をいつでも可能な限り貸してくれます。

これらのすばらしい図書資料がすべて無料で利用できます。

利用者の声

「小さな町なのに、本が豊富で驚いています。雑誌や趣味の本と多種多様で、しかも無料で借りられるので、とてもたすかります」

(大町の伊藤光子さん)

こんなサービスが

さて、このようにすばら

しい図書館ですが図書館から遠い部落が多く、なかなか利用できない人や、会社勤めで時間内に図書館に来れない人のために館外への貸し出しを行っています。

(1)部落公民館

(立木・太郎・大沼・大暮山・水本)

(2)企業

(日東食品・マイニット・サンライズ・アサヒクニ・朝日相扶)

(3)西・北部公民館

(4)個人宅

(松程の鈴木功宅・大谷の白田かよ宅・白田高二商店)

また、館内においては、主に次のようなサービスを行っています。

(1)読書案内

本についての質問に答えたり、読みたい本がどこにあるかを案内している。

(2)予約(リクエスト)サービス

読みたい本が見つからないときに、それを予約できる制度です。

(3)調べもの案内(レファ

レンスサービス)

日常生活の中でわからないことや調べたいことがあったり、調査研究などで資料さがしのお手伝いをします。

利用者の声

「五時を過ぎればもう主婦の顔。夜間貸し出しもあるというところで、なかなか利用できません。その点会社で借りられるのでたすかります」(マイニットの阿部茂子さん)

子どもに本を

読ませよう

子どもは本が大好き。絵本の扉を開けば、もうふしぎの国のアリス。想像力を伸ばし、情緒豊かな子どもを育てるには読書がいちばんです。

宮宿公民館に児童文庫コーナーがあります。毎週土曜日、午後一時から三時まで、本の貸し出しを行っています。

います。そして二カ月に一回のお話し会。佐直先生を中心に十一名の協力委員のおかあさんがたが絵本の読みかせや紙芝居をしています。また、八月と十二月には(七夕やクリスマスマスの催しを中心に)人形劇やゲーム、本で遊んだり多彩な活動を繰り広げているのです。

本を通して、親子のつながりを深めるためにおかあさんがたの研修会を開催しています。そこでは、さまざまな意見を交換したり、疑問などを出し合い、経験豊かな先生が、適切なアドバイスをしてくれます。

家庭での読書が

第一

「子どもたちの活字離れが進んでいる」といわれる昨今、保育園、小学校、中学校、高校とそれなりの読書指導と環境を受けながら、社会人になると読書に親しむ人が急激に少なくなりま

れていないからなのではないでしょうか。

テレビを消して、10分なり15分なり、親子で本を読む時間をつくっていくことが必要なのではないでしょうか。

まず、親が本を好きになることです。そうすれば、子どもは自然に本を開くでしょう。

利用者の声

「町の図書館までは遠くてなかなか行けません。希望する本を持ってきてくれるし、たくさんある中から選べるのたいへんありがたい」(松程の鈴木かつ子さん)

(編集/教育広報委員会)



送橋小が

優良奨励賞に

去る十月十一日に開かれた「YBCこども音楽コンクール内陸地区大会」で、送橋小が、重奏の部で優良奨励賞に選ばれました。

この日の大会には、内陸地方の小・中四十八校が参加。重唱、合唱、重奏、合奏などに分かれて発表しました。

送橋小は、五・六年全員によるたて笛の重奏で、ハイドン作曲「セレナーデ」を堂々と発表。八名と小人数ながら、みごとにハーモニで会場から盛んな拍手がおくられていました。

学校では「これを契機に、いっそう音楽教育に力を入れたい」と語っています。



町民のこゝろ

●意見・話題
をお寄せ下さい。— 広報係 —

大谷剣道スポーツ少年団

県大会で男女アベック優勝

☆女子は今年通算5連勝



優勝カップを手に喜びの選手たち

去る十月三十一日、酒田市亀城小で開かれた第四回県剣道道場連盟小学生剣道大会で、大谷剣道少年団がみごと史上初の男女アベック優勝に輝きました。

この日は県内各地から、男子四十七チーム、女子十チームが参加。男子Bチームは健闘しましたが、予選トーナメントで惜しくも二位。一方、男子Aと女子は予選を順調に勝ち進みました。

決勝トーナメントでは、県内トップレベルの各チームと対戦。熱戦のすえ、男子は押切Aを、女子は藤島をそれぞれ下し栄冠を勝ち取りました。

また、女子はこのほど行われた県民スポーツ中央大会でも優勝しており、今年の各大会で五回続けて優勝をかざっています。

優勝チームの選手紹介

●男子／長岡泰、長岡誠、小松和之、阿部礼二郎、柴田仁、長岡勉

●女子／遠藤純子、小野由美、遠藤佳子、白田歩、白田美代、安藤博美

(志藤良男広報委員)

せわしい時期

朝の別れが少々つらい季節に入った。エプロンをはけると私の一日が始まる。ぬか釜に火をつけ、いろいろに火をたき、座敷を丸く掃き、人前で開く弁当ともなればもう一品と、回転しない頭であちこち考え、バタバタとさわぐ。

七時十分前、さうごはんだよオ学校に遅れるぞオ——小五の娘と二階の息子に離れの娘。

「もう五分早く起きて手伝ってもいいべ」「ん、わかっておる」田中角栄流の返事をする。

「よおく毎日同じことさえずるね。楽しみなんだな」「お母さん私がするところ残しておいて」「冗談じゃない途中を抜いたら私が遅れるじゃないか」。ごはんをろくたまかみもしないで飲み込み、頭にササッとく

おじゃましま〜す

知らせてほしいこと、言いたいことあったらデコッ下さい。うかがいます。 ☎ 8-2424 7-3436

しを入れ、行ってきましたと一番先に家を出る。人生バラ色、らっきょうが転がるフッフの娘も十数年後、主婦として生活する年月の重みが、お金の重要さも教えてくれるし、友達

は人生の無形の財産であることも身にしみるはずである。人目を気にしてささいなことにもあちこち気兼ねして意気消沈してしまう。とてもとても、よっしゃよっしゃなんていうわけにはいかな

い。モンモンとする胸を發散させる相手があるということとは友達百人の気分。娘たちが嫁いでも友断ちにならぬようきかせたい。

家族全員ゾゾヨヨというのは今年だけ。長く見積っても数年後、長女の親の卒業式が行われるであろう。金も心もせわし忙し、それ

もまた楽しからずや。

(鈴木かつ子広報委員)



朝日分校を卒業後、山形高等技術専門校の美容科で一年間学んできた。宮宿の

ははだけ 若人



岐阜県立多治見工業高校を卒業。現在、榎大木通信に勤務して、西村山管内の

電話取り付け業務を担当。

彼はまた、朝日町連合青年団の理事を務めている。

「いっしょに酒を飲んだり行事をやったり終えた時の、仕事とは違う充実感が青年団の魅力ですね。そういった感動をもっと多くの人と分かち合えたら最高でしょうね」と、目を輝かせて語る。

高校時代、陶芸を学んだ。

一昨年の県青年大会（朝日町大会）では「酒器」を出品、みごと最優秀に輝き、全国大会へ出場した。

「自分の作品で飲んだ酒の味と感激は今でも忘れられません」「細々とでもいいから、また、作品を作りたい」と陶芸への情熱をあためている。

（五人家族。24歳）

青年団で充実した日々

石田 淵 長岡 雅彦さん

幅の広い美容師に

大船 木 長岡 桃子さん

安藤理美容所に住み込みで勤めて今年で三年になる。

「やっぱりこの仕事が好きです。自分のペースに合わせて夢を持って仕事ができるし、お客様に喜ばれると、とてもうれしいですね」と顔をほころばせる。

「いろいろな技術を身につけて、幅の広い美容師になりたい」と意欲を燃やす。

趣味は、お菓子作り。

「レパートリーはまだ少ないんだけど、得意なのは『にんじんケーキ』。ほかのスタッフの皆さんも好きで、お互いに工夫し合っています」

好きな男性像は？「自分の夢をハッキリ持っている人」と言う。（祖母、両親と兄弟の六人家族。21歳）

（高橋久子広報委員）

初の「ほおずき窯」展

*大滝の柴田とみ子さん

ふるさとの土で独特の陶器作りに挑んできた大滝の柴田とみ子さんが、十月二十五日から七日間、中央公民館で個展を開きました。

柴田さんは、瀬戸市で修業を積んだ後、昨年春、自宅に窯を開き「ほおずき窯」と命名。リンゴ山の土を素材に、ほおずきのようなぬくもりを感じさせる作品をと、陶器作りに没頭してきました。

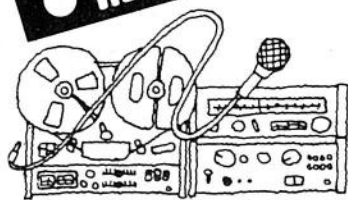
展示場には、これまで焼いた作品の中から力作一〇九点が飾られ、つばや皿、

湯飲みなどみごとに作品の数々に観覧者たちは興味深そうに見入っていました。柴田さんは「初めての個展をおおぜいのかたがたに見ていただき、こんなにうれしいことはありません。これからは自分の個性づくりに励んでいきます」と語っていました。



▲大ぜい関心を集めた個展 柴田とみ子さん▶





＊第4回産業まつりのご案内

■とき／11月20日(土) 午前9時～午後6時
21日(日) 午前9時～午後4時

■ところ／町民体育館、中央公民館

(開発センター)

■内容／リンゴ品評会、米まつり、工業製品・特産品の展示即売、ヤマメ・野菜・肉などの即売ほか

☆産業大賞、技能者の表彰

11月20日午前10時から、町民体育館で行われます。

☆記念講演会

11月20日午後2時から中央公民館で、テーマは「世界の中の日本農業」。講師は、日経新聞論説員の山地進氏です。

＊新刊書あんない(町立図書館)

▷開幕ベルは華やかに(有吉佐和子)▷蒼天に翔る(青島幸男)▷時代屋の女房(村松友視)▷三毛猫ホームズの恐怖館(赤川次郎)▷武器輸出(読売新聞)▷僕は寺の子坊主の子(永六輔)▷テレビ・ジャーナリズムの世界(NHK)▷女の人間関係学(樋口恵子)▷世界を輪切りにする(小田実)▷異文化としての子ども(本田和子)▷万引一万引人口1,000万人恐るべき実態(坂口拓史)▷百歳までもさりげなく(富家咲子)▷ことば遊び百科(桑原茂夫)▷マイコンの仕組がわかる本(末広憲治)▷ひとりて歩く女は美しい(下重暁子)

＊求人あんない

●日山製作所

☎7-7259(水口), 8-2252(大谷)

工場新設により、女子30名を募集(45才まで)パートのかたも募集します。

＊朝日町のリンゴが全国放送

11月19日(金) 午前8時30分から、YTSテレビ「おはようナイスデー」で、朝日町のリンゴが放映されます。どうぞごらんください。

今「広報あさひ」では、町民の声を広く募集しています。役場企画広報係へどしどしお寄せください。

ワイン
を
食
べ
る



●ワインゼリーの作り方

「ワインの出来るまで」を今度は工場も見学させてもらいたいな、などと思いながら拝読しています。

あの美しい色に魅せられて、きょうはワインゼリーを作ってみませんか。

<出来あがり量…600cc ワインゼリー>

＊用意するもの

- ワイン(ロゼ)…1カップ(200cc)
- 砂糖……1カップ弱
- 水……2カップ
- ゼラチン……15グラム(5グラム入3袋)
- ゼリー型(タッパー、水ようかんの空缶などいずれか)

＊作り方

- ①ゼラチン3袋を水2カップで溶かす。(40～50℃ぐらいで、溶けさえすればよい。絶対に煮たてないこと。)
- ②砂糖を入れ、火を止めてからワイン1カップを入れる。
- ③型に流し、さめたら冷蔵庫で冷やす。(1時間ぐらい)
- ④型から取り出す時は、熱めのお湯に型のほうをサッとくぐすと、型くずれせず簡単に取れます。

＊赤ワインや白ワインでも出来ますが、いちばん美しくできるのが「ロゼ」です。

＊また棒寒天を使えば、ワインようかんになります。

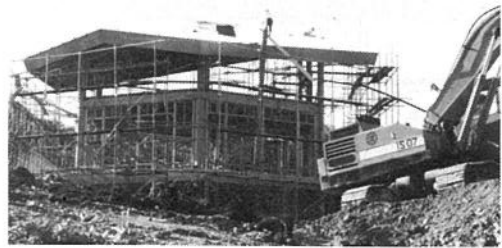
＊子どもから老人まで食べられますが、アルコール分があるので、あまり食べ過ぎると酔いが回ります。

りんごとワインの里……私たちの町で出来るワインですもの、大いに飲んだり食べたりしようではありませんか。

「ワインを食べる」——こんな言葉があってもいいのでは? 濃くも薄くもお好みしだい。あなたの味をお楽しみください。(元町・渡辺)

白銀が招く

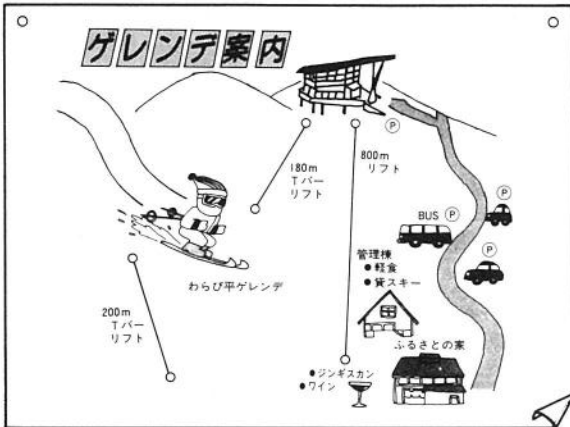
白倉スキー場 12月18日オープン



白倉スキー場、今シーズンの幕開けは、12月18日(土)と決まり、その準備が着々と進められています。

昨年の800mリフト設置に引続き、今年は緑地等管理センターが建設され、上のTバーリフトも100mから180mに延長。いっそう充実したスキー場として生まれ変わります。

さらに、駐車場を新たに2カ所造成。休日や子どもの冬休みにはスキー場行きのバスも運行されます。さあ、あなたも健康づくりに、白銀の世界にとび込んでみませんか。



三高が峰陽に映えて最上の流れ水清く紅葉深し蓮成寺若宮八幡影もなく昔の光今いずこ。霜月白く空青松風さわぐ二所の宮万年堂も苔むして晚鐘悲し秋の暮、歴史の光今いずこ。



西船渡「二所の宮権現」

創は文禄元年(一五九二年)とあり前者と三七〇年ほど違うが神は語らず人識らず今後の研究課題である。別当は代々八ッ沼一応寺宮本家であり、同家の一応寺記に曰く、「本寺は宮本坊と称し小寺に住す。康正二年最上川のほとり唐繰に下り一寺を建立し、ついで二所の宮の別当を勤む」とあり、康正二年(一四五六)より西船渡に一寺を建て二所の宮の別当をばし

「抑二所大権現ハ当国一ノ宮、大物忌神社、月夜忌ノ神社ニ候、鳥海、月山ノ両社ヲ勧請シ奉リ二所大権現ニ御座候
文禄元辰年ノ草創也、別当ハ当寺代々執行先任ハ宮本坊本覚院一応寺惠聖ト申候」とある。これによると祭神は大物忌神と月夜忌神の二神であり、鳥海山と月山の祭神と同じである。草

たとある故、文禄年間以前より別当をしたことは確実である。康正年間にはすでに二所の宮は建立されていたことになる。
宮本家は代々羽黒山の修験僧であつて享保年間には近郷八院坊の頭襟頭を務めたことが記録にある。永禄五年(一五六二)五百川城主原美濃守の命によって八ッ沼の現在地に移った。現当主は宮本武氏で実に五代目の旧家である。明治三年復飾し宮本氏となるまで約四百年間二所の宮の別当となり、その後西船渡若月小左エ門が継ぎ現在分家直蔵氏が別当を務めている。宮本家には、寛永九年、正徳元年、明和六年等の院号授与の記録が現存する。祭礼は旧四月三日盛大に挙行される。

(文/広報委員長岡幸助)



東京朝日会のこと

五十嵐 高次

《〒151 東京都渋谷区本町1-30-6》



*プロフィール

- 昭和5年2月／中沢生まれ
- 昭和26年／寒河江高等学校卒業
- 昭和27年／警視庁採用
- 昭和51年／警視庁警視・丸の内警察署交通課長、警視庁交通部管理官、立川警察署副署長、代々木警察所長を経て現在警視庁第二方面本部副本部長

故郷の朝日町を後に上京してから早三十年が過ぎました。もともと当時は町村合併前なので、正しくいうと故郷の大谷を後にしたのです。

私の生地は、旧大谷村の中でも最も東端に位置する中沢なので、小学校に、これも正確にいうと国民学校ですが、約二キロの道を通学したほかは、故郷での生活圏というか、活動の範囲は、どちらかというと左沢、寒河江のほうが主であり、正直いって、現在町役場のある宮宿のほうに足を運んだ記憶はあまりありません。

三十年もたつと、故郷の記憶も次第に薄れ、また仕事の都合もあり、何年かに一度、しかも、二、三日の

あわただしい帰省では、少年時代を共に過ごした旧友とゆっくり語り合う暇もありません。生家の人や、ごく限られたかたがたから断片的な情報を得て帰って来るにすぎません。

そのような中でも、帰省するたびに感心するのは、道路の整備が急激に進んでいることと、住宅がどんどん新築されていることです。故郷で過ごした二十年余の間に、ほとんど変わることもなかった情景の中で、道路と住宅だけが、故郷を離れてからの三十年の間に、昔の面影を残すことなく変化しと言っても過言ではありません。

それだけ故郷の町が発展していることであり、たいへん喜ばしいことです。その反面思い出の場所がそれだけ失われていくことでもあり、複雑な気持ちで眺めて帰るのが実感です。

そのような折も折、東京朝日会のお世話をしているつしやる宮宿出身の阿部徳二郎さんと、数年前偶然にも、新宿のある宴会場で知

那須大谷で獅子踊りを奉納

*大谷獅子踊り保存会

去る十月十七日、大谷獅子踊り保存会（白田惣市会

で三回目になります。

（佐藤広報委員）

長）の会員十二名が那須大谷を訪れ、角田流獅子踊りを奉納しました。

那須大谷の白山神社祭典は、毎年十月十七日に恒例となっており、この日神社境内にはおおぜいの人たちが詰めかけ、なつかしうにふるりの獅子踊りを見守っていました。

保存会の那須訪問は、昭和四十八年に初めて訪れ、踊りを奉納して以来、今回



那須大谷の白山神社で獅子踊りを奉納

県民スポーツ中央大会で活躍

☆剣道・ミニバスケ・バドミントン

10月24日、山形市で県民スポーツ中央大会が開かれ、当町からは郡大会で優秀な成績を納めた少年剣道などの種目で出場しました。

その結果、剣道女子が優勝をかざったほか、一般女子バドミントンが第2位に入賞するなど、活躍が目立ちました。

成績は次の通り

- 優勝／大谷女子剣道●第2位／一般女子バドミントン、大谷男子剣道
 - 第3位／和合女子ミニバスケ
- ボール、送橋女子剣道

全国青年大会 — ☆送橋の渡辺良君 意見発表の部で優秀賞

●日本の秋祭りでは「りんごとワイン」好評

十一月五日から七日まで東京で全国青年大会が開かれ、県大会で優勝した渡辺良君（送橋）と加藤正君（常盤）の二名が出場しました。

意見発表の部で出場した渡辺君は「明るく住みよい町をつくるための実践活動」と題して堂々と発表。みごと優秀賞に輝きました。

一方、陸上競技一万メートルに出場した加藤君は、健闘おぼろしく惜しくも決勝進出なりませんでした。

また、同じ期間、明治公園で開かれた勤労青年の祭典「日本の秋祭り」には、当町から二十名の青年団員が参加。りんごとワインの即売所には、おおぜいの人がつめかけ、三日間で全部売り切れとなりました。（渡辺良明広報委員）

り合いました。同町出身ということで、その後もいろいろな場所でおつき合いをいただき、その都度なつかしい故郷の情報を提供していただいております。また、年に一度の東京朝日会の集まりにも出席させていただき、十数年ぶりに、あ

るいは二十数年ぶりに、青少年時代を共に過ごした近隣の人や、学校での級友にも再会し、なつかしい昔話に花を咲かすことができました。

その東京朝日会の今年の集まりが、来る十一月十四日に開かれるということ

阿部さんから連絡を受け、今年はどうな人に会えるだろうか、今から楽しみにしています。

そんなわけで、この「ふるさとへの便り」も阿部さんのすすめでお届けした次第です。



☆渡辺 良君



勤労青年の祭典「日本の秋祭り」では、りんごとワインが好評だった

文化の輪を広げよう 第18回芸術文化祭



「文化の輪を広げよう」をキャッチフレーズに、十一月二日、三日の両日、町の芸術文化祭が行われました。

中央公民館、町民体育館をメイン会場に、西北部公民館、下芦沢、西船渡、太郎など各会場で開催。各種作品の展示や芸能発表などが行われました。

今年は特に、鹿鳴館倶楽部主催のダンスパーティーや朝日ジャズクラブのジャズ喫茶など、若者の参加が目立ちました。

忙中閑ありといえます。暮らしの中にゆとりを見つけ、芸術に親しんでいきたいものです。



▶バンドは迫力ある演奏を聴かせてくれた



▶落ちついた雰囲気の中で茶の湯を楽しむ



あたたかい町に
☆村山郁代さん(本町)

町長選挙と私

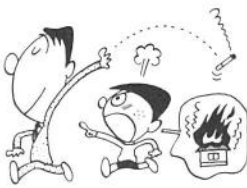
「いつも笑顔を絶やさずに暮らすことが、あたたかい町にする基だと思っています」

九州、熊本県出身の彼女は東京で生活していた時に、本町出身の彼の誠実さと優しさに引かれ結婚。五十五年から朝日町での生活に入った。

朝日町に来ての感想は？

「みんな親切でいい町です。でも、文化面の施設や子どもがのびのび遊べる場所などがもっとほしいと思います」。

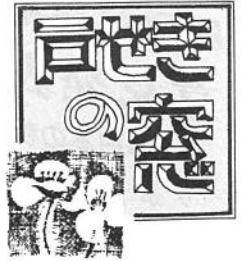
(登山が好きで、穂高や槍へも登った。朝日岳にもぜひ……。体は細いけど体力には自信たっぷり——長男の祐爾君と)



秋の全国火災予防運動
11月26日～12月2日

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|------|-------|-----|
| 堀 幸雄 | 大暮山 幸雄 | 菅井 俊美 | 小 原 | 今井 正則 | 新宿 | 阿部 一彦 | 立 木 | 石塚 芳幸 | 四ノ沢 | 菅井 正人 | 沼 向 | 白田 淳 | 栗木沢 |
| 安藤富美子 | 松 原 | 大山栄美子 | 上山市 | 青木 里美 | 河北町 | 五十嵐正子 | 舟 渡 | 北向留美子 | 青森県 | 佐藤紀美子 | 寒河江市 | 安藤 広美 | 栗木沢 |

* 婚 姻



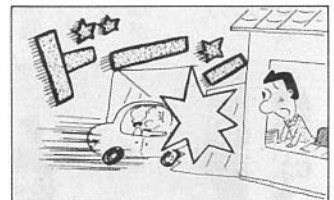
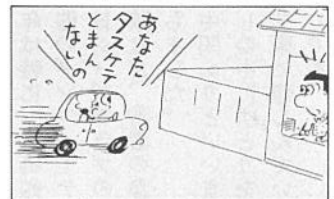
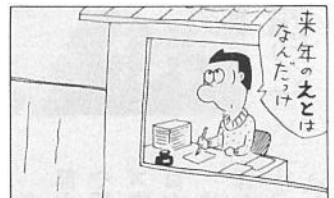
57年10月1日～10月31日届出

* 出 生

- | | | |
|--------|---------|----|
| 区 名 | 出生者氏名父名 | 続柄 |
| 八ッ沼 | 佐竹優子矢勇悦 | 二男 |
| 大 隅 | 渡邊真千子 啓 | 長女 |
| 常 盤 | 長岡麻美 善司 | 長女 |
| 宿 佐藤剛史 | 敏行 | 長男 |

* 死 亡

- | | | |
|-----|----------|-------|
| 常 盤 | 海野家光 | 久 二男 |
| 大暮山 | 川口紀子 | 正幸 二女 |
| 西 町 | 鈴木正宜 | 正治 二男 |
| 長 沼 | 海野コウ子 | 満 長女 |
| 西船渡 | 鈴木晴美 | 茂利 長女 |
| 四ノ沢 | 伊藤まどか真悦 | 長女 |
| 前田沢 | 鈴木 翼 | 修 長男 |
| 大 隅 | 菅井美香 | 浩 長女 |
| 舟 渡 | 川村真有美喜美雄 | 長女 |



朝日山岳会が登山道のフライング作戦



十月十六日、十七日の二日間、朝日山岳会では、白滝から大朝日岳までの登山道のゴミ拾いを行いました。
夏山シーズンに捨てられた空



東北電力が点検サービス

カン、ビニール類など十五袋も集められました。

十月二十七日、東北電力宮宿出張所では、秋のサービス旬間の一環として、一人暮らし老人世帯の電気点検サービスを行いました。

今回は、西部地区の十世帯を係員が訪問。漏電の検査など、念入りに点検していました。

